

1. 北海道大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新	旧		
教育研究に係る基本的な組織及び入学定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科)	(入学定員)	(学部、学科)	(入学定員)
		医学部		医学部	
		医学科	107人	医学科	100人
		(研究科等、課程、専攻)	(入学定員)	(研究科等、課程、専攻)	(入学定員)
		文学研究科		文学研究科	
		博士後期課程		博士後期課程	
		歴史地域文化学専攻	15人	歴史地域文化学専攻	19人
		言語文学専攻	16人	言語文学専攻	19人
		人間システム科学専攻	10人	人間システム科学専攻	12人
		法学研究科 (法科大学院)		法学研究科 (法科大学院)	
		専門職学位課程		専門職学位課程	
		法律実務専攻	80人	法律実務専攻	100人
		(廃止)		工学研究科 (全専攻)	
		環境科学院		環境科学院	
		博士前期課程		博士前期課程	
		地球圏科学専攻	35人	地球圏科学専攻	37人
		博士後期課程		博士後期課程	
		地球圏科学専攻	14人	地球圏科学専攻	15人
		理学院		理学院	
		(廃止)		化学専攻	
		物性物理学専攻		量子理学専攻	
		博士前期課程	20人	博士前期課程	18人
		宇宙理学専攻		宇宙理学専攻	
		博士後期課程		博士後期課程	
		宇宙理学専攻	9人	宇宙理学専攻	8人
		(廃止)		生命理学専攻	
		生命科学学院		生命科学学院	
		博士前期課程		博士前期課程	
		生命科学専攻	132人	生命科学専攻	135人
		博士後期課程		博士後期課程	
		生命科学専攻	50人	生命科学専攻	42人
		保健科学院			
		博士後期課程			
		保健科学専攻	8人		
		工学院			
		博士前期課程			
		応用物理学専攻	34人		
		材料科学専攻	39人		
		機械宇宙工学専攻	27人		
		人間機械システム専攻	26人		
エネルギー環境システム専攻	26人				
量子理工学専攻	20人				
環境フィールド工学専攻	24人				
北方圏環境政策工学専攻	26人				
建築都市空間デザイン専攻	23人				
空間性能システム専攻	28人				
環境創生工学専攻	28人				
環境循環システム専攻	25人				
博士後期課程					
応用物理学専攻	8人				
材料科学専攻	7人				
機械宇宙工学専攻	5人				
人間機械システム専攻	5人				
エネルギー環境システム専攻	5人				
量子理工学専攻	5人				
環境フィールド工学専攻	6人				
北方圏環境政策工学専攻	7人				
建築都市空間デザイン専攻	5人				
空間性能システム専攻	5人				
環境創生工学専攻	5人				
環境循環システム専攻	5人				

		総合化学院 博士前期課程 総合化学専攻 129人 博士後期課程 総合化学専攻 38人	
--	--	--	--

2. 東京大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
学科名の変更	平成22年4月1日	(名称) 医学部健康総合科学科	(名称) 医学部健康科学・看護学科
専攻の改廃	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) 薬学系研究科 修士課程 薬科学専攻	(研究科、課程、専攻) 薬学系研究科 修士課程 分子薬学専攻 機能薬学専攻 生命薬学専攻 統合薬学専攻
入学定員の変更、学生募集の停止	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 110人 (研究科、課程、専攻) 薬学系研究科 修士課程 分子薬学専攻 募集停止 機能薬学専攻 募集停止 生命薬学専攻 募集停止 統合薬学専攻 募集停止 薬科学専攻 100人 法学政治学研究科 専門職学位課程 法曹養成専攻 240人	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 108人 (研究科、課程、専攻) 薬学系研究科 修士課程 分子薬学専攻 26人 機能薬学専攻 24人 生命薬学専攻 18人 統合薬学専攻 18人 法学政治学研究科 専門職学位課程 法曹養成専攻 300人

3. 東京医科歯科大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
医学部医学科における入学定員及び収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 95人 590人	(学部、学科) (入学定員) (収容定員) 医学部 医学科 85人 530人

4. 電気通信大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較		
		新		
学部の設置	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員)(3年次編入)(収容定員) 情報理工学部 総合情報学科 150人 6人 612人 情報・通信工学科 210人 8人 856人 知能機械工学科 140人 6人 572人 先進理工学科 190人 8人 776人 先端工学基礎課程(夜間主) 100人 5人 410人 計 790人 33人 3,226人		
学部の廃止	平成22年4月1日	(学部、コース、学科) (入学定員) (編入学) (収容定員) 電気通信学部 昼間コース 情報通信工学科 130人 5人 530人 情報工学科 110人 5人 450人 電子工学科 140人 5人 570人 量子・物質工学科 110人 440人 知能機械工学科 100人 5人 410人 システム工学科 60人 240人 人間コミュニケーション学科 40人 160人 計 690人 20人 2,800人		

			夜間主コース 情報通信工学科 30人 5人 130人 情報工学科 20人 5人 90人 電子工学科 30人 5人 130人 量子・物質工学科 20人 80人 知能機械工学科 30人 5人 130人 システム工学科 20人 80人 人間コミュニケーション学科 30人 120人 計 180人 20人 760人
大学院の研究科の設置	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 情報理工学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻 74人 148人 情報・通信工学専攻 103人 206人 知能機械工学専攻 69人 138人 先進理工学専攻 94人 188人 計 340人 680人 博士後期課程 総合情報学専攻 6人 18人 情報・通信工学専攻 9人 27人 知能機械工学専攻 5人 15人 先進理工学専攻 9人 27人 計 29人 87人	
大学院の研究科の廃止	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員) 電気通信学研究科 博士前期課程 情報通信工学専攻 34人 68人 情報工学専攻 27人 54人 電子工学専攻 41人 82人 量子・物質工学専攻 25人 50人 知能機械工学専攻 33人 66人 システム工学専攻 15人 30人 人間コミュニケーション学専攻 13人 26人 計 188人 376人 博士後期課程 情報通信工学専攻 5人 15人 情報工学専攻 4人 12人 電子工学専攻 7人 21人 量子・物質工学専攻 3人 9人 知能機械工学専攻 6人 18人 システム工学専攻 2人 6人 人間コミュニケーション学専攻 2人 6人 計 29人 87人	

5. 大阪大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
大学院の専攻の設置	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) 薬学研究科 修士課程 創成薬学専攻 博士課程 分子薬科学専攻 応用医療薬科学専攻 生命情報環境科学専攻	(研究科、課程、専攻) 薬学研究科 博士課程 分子薬科学専攻 応用医療薬科学専攻 生命情報環境科学専攻
学部の入学定員、編入年次及び収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) (2年次編入) (収容定員) 医学部 医学科 95人 10人 620人 計 3,250人 13,550人 地域の医師確保等の観点からの医学部医学科入学定員5名の増 (増員期間は、平成31年度まで)	(学部、学科) (入学定員) (3年次編入) (収容定員) 医学部 医学科 95人 10人 610人 計 3,250人 13,540人

大学院の入学定員及び 収容定員の変更	平成22年4月1日	(研究科、専攻)		(入学定員) (収容定員)		(研究科、専攻)		(入学定員) (収容定員)	
		■修士課程、博士課程の 前期課程又は法科大学院の課程				■修士課程、博士課程の 前期課程又は法科大学院の課程			
		人間科学研究科				人間科学研究科			
		人間科学専攻	70人	140人		人間科学専攻	70人	140人	
		グローバル人間学専攻	19人	38人		グローバル人間学専攻	19人	38人	
		薬学研究科				薬学研究科			
		分子薬科学専攻	—	—		分子薬科学専攻	23人	46人	
		応用医療薬科学専攻	—	—		応用医療薬科学専攻	30人	60人	
		生命情報環境科学専攻	—	—		生命情報環境科学専攻	17人	34人	
		創成薬学専攻	60人	60人					
		工学研究科				工学研究科			
		生命先端工学専攻	85人	150人		生命先端工学専攻	65人	130人	
		応用化学専攻	77人	129人		応用化学専攻	52人	104人	
		精密科学・応用物理学専攻	60人	99人		精密科学・応用物理学専攻	39人	78人	
		知能・機能創成工学専攻	32人	62人		知能・機能創成工学専攻	30人	60人	
		機械工学専攻	80人	135人		機械工学専攻	55人	110人	
		マテリアル生産科学専攻	106人	174人		マテリアル生産科学専攻	68人	136人	
		電気電子情報工学専攻	143人	234人		電気電子情報工学専攻	91人	182人	
		環境・エネルギー工学専攻	76人	118人		環境・エネルギー工学専攻	42人	84人	
		地球総合工学専攻	98人	165人		地球総合工学専攻	67人	134人	
		基礎工学研究科				基礎工学研究科			
		物質創成専攻	113人	200人		物質創成専攻	87人	174人	
		機能創成専攻	59人	104人		機能創成専攻	45人	90人	
		システム創成専攻	95人	168人		システム創成専攻	73人	146人	
		言語文化研究科				言語文化研究科			
		言語文化専攻	32人	64人		言語文化専攻	32人	64人	
		言語社会専攻	35人	70人		言語社会専攻	35人	70人	
		高等司法研究科				高等司法研究科			
		法務専攻	80人	280人		法務専攻	100人	300人	
		合計	2,053人	3,856人		合計	1,773人	3,646人	
		■博士課程の後期課程、 医学・歯学の博士課程				■博士課程の後期課程、 医学・歯学の博士課程			
		(研究科、専攻)	(入学定員)	(収容定員)	(研究科、専攻)	(入学定員)	(収容定員)		
		人間科学研究科			人間科学研究科				
		人間科学専攻	34人	102人	人間科学専攻	34人	106人		
		グローバル人間学専攻	8人	24人	グローバル人間学専攻	8人	16人		
		薬学研究科			薬学研究科				
		分子薬科学専攻	10人	30人	分子薬科学専攻	10人	30人		
		応用医療薬科学専攻	14人	42人	応用医療薬科学専攻	14人	42人		
		生命情報環境科学専攻	8人	24人	生命情報環境科学専攻	8人	24人		
		工学研究科			工学研究科				
		生命先端工学専攻	18人	54人	生命先端工学専攻	18人	54人		
		応用化学専攻	22人	66人	応用化学専攻	22人	66人		
		精密科学・応用物理学専攻	16人	48人	精密科学・応用物理学専攻	16人	48人		
		知能・機能創成工学専攻	6人	18人	知能・機能創成工学専攻	6人	18人		
		機械工学専攻	21人	63人	機械工学専攻	21人	63人		
		マテリアル生産科学専攻	28人	84人	マテリアル生産科学専攻	28人	84人		
		電気電子情報工学専攻	31人	93人	電気電子情報工学専攻	31人	93人		
		環境・エネルギー工学専攻	15人	45人	環境・エネルギー工学専攻	15人	45人		
		地球総合工学専攻	23人	69人	地球総合工学専攻	23人	69人		
		基礎工学研究科			基礎工学研究科				
		物質創成専攻	31人	93人	物質創成専攻	31人	93人		
		機能創成専攻	15人	45人	機能創成専攻	15人	45人		
		システム創成専攻	24人	72人	システム創成専攻	24人	72人		
		言語文化研究科			言語文化研究科				
		言語文化専攻	15人	45人	言語文化専攻	15人	30人		
		言語社会専攻	13人	39人	言語社会専攻	13人	26人		
		大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 連合小児発達学専攻			大阪大学・金沢大学・浜松医科大学 連合小児発達学専攻				
		小児発達学専攻	10人	20人	小児発達学専攻	10人	10人		
		合計	939人	3,144人	合計	939人	3,102人		

学生募集の停止	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) 薬学研究科 博士前期課程 分子薬科学 応用医療薬科学 生命情報環境科学
---------	-----------	--

6. 島根大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較					
		新		旧			
入学定員、収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)
		医学部 医学科	100人	575人	医学部 医学科	95人	560人
		(研究科、専攻)	(入学定員)	(収容定員)	(研究科、専攻)	(入学定員)	(収容定員)
		法務研究科 法曹養成専攻	20人	80人	法務研究科 法曹養成専攻	30人	90人

※ 医学部医学科の編入学定員及びその収容定員には、変更はない。

※ 医学部医学科の収容定員数には、編入学の40人を含んでいる。

7. 広島大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
研究科の改組	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻)	(入学定員)	(研究科、課程、専攻)	(入学定員)
		工学研究科 博士前期課程 機械システム工学専攻 機械物理工学専攻 システムサイバネティクス専攻 情報工学専攻 化学工学専攻 応用化学専攻 社会基盤環境工学専攻 輸送・環境システム専攻 建築学専攻 博士後期課程 機械システム工学専攻 機械物理工学専攻 システムサイバネティクス専攻 情報工学専攻 化学工学専攻 応用化学専攻 社会基盤環境工学専攻 輸送・環境システム専攻 建築学専攻 医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬科学専攻	28人 30人 34人 37人 24人 26人 20人 20人 21人 9人 10人 11人 13人 8人 9人 7人 7人 7人 20人	工学研究科 博士前期課程 機械システム工学専攻 複雑システム工学専攻 情報工学専攻 物質化学システム専攻 社会環境システム専攻 博士後期課程 機械システム工学専攻 複雑システム工学専攻 情報工学専攻 物質化学システム専攻 社会環境システム専攻 医歯薬学総合研究科 博士前期課程 薬学専攻	41人 24人 27人 36人 43人 19人 11人 13人 17人 21人 43人
教育研究組織の設置	平成22年4月1日	(名称) 大学院工学研究院 教養教育本部 国際センター 産学・地域連携センター 現代インド研究センター	(名称) 留学生センター 産学連携センター 地域連携センター 医療社会連携センター		

入学定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員)	(学部、学科) (入学定員)
		医学部 医学科 117人 (医学科の入学定員117人のうち、5人は平成21年度から29年度まで、7人は平成22年度から31年度までの暫定措置) (研究科、課程、専攻) (入学定員) 法務研究科 専門職学位課程 法務専攻 48人	医学部 医学科 110人 (医学科の入学定員110人のうち、5人は平成21年度から29年度までの暫定措置) (研究科、課程、専攻) (入学定員) 法務研究科 専門職学位課程 法務専攻 60人

8. 香川大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員)	(学部、学科、年度) (入学定員) (収容定員)		
		医学部 医学科 平成22年度 107人 592人 平成23年度 107人 609人 平成24年度 107人 626人 平成25年度 107人 643人 平成26年度 107人 660人 平成27年度～ 107人 667人 ※ 収容定員は編入学定員を含む	医学部 医学科 平成21年度 100人 575人 ※ 収容定員は編入学定員を含む		
		(研究科、専攻、年度) (入学定員) (収容定員)	(研究科、専攻、年度) (入学定員) (収容定員)		
		香川大学・愛媛大学連合法務研究科 法務専攻 平成22年度 20人 80人 平成23年度 20人 70人 平成24年度～ 20人 60人	香川大学・愛媛大学連合法務研究科 法務専攻 平成21年度 30人 90人		

9. 佐賀大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較			
		新		旧	
大学院（工学系研究科、農学研究科）の改組	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員)	(研究科、課程、専攻) (入学定員) (収容定員)		
		工学系研究科 博士前期課程 数理科学専攻 9人 18人 物理科学専攻 15人 30人 知能情報システム学専攻 16人 32人 循環物質化学専攻 27人 54人 機械システム工学専攻 27人 54人 電気電子工学専攻 27人 54人 都市工学専攻 27人 54人 先端融合工学専攻 36人 72人 計 184人 368人 博士後期課程 システム創成科学専攻 24人 72人 計 24人 72人 農学研究科 修士課程 生物資源科学専攻 40人 80人 計 40人 80人	工学系研究科 博士前期課程 機能物質化学専攻 16人 32人 物理科学専攻 15人 30人 機械システム工学専攻 27人 54人 電気電子工学専攻 26人 52人 知能情報システム学専攻 15人 30人 数理科学専攻 11人 22人 都市工学専攻 27人 54人 循環物質工学専攻 17人 34人 生体機能システム制御工学専攻 32人 64人 計 186人 372人 博士後期課程 エネルギー物質科学専攻 9人 27人 システム生産科学専攻 7人 21人 生体機能システム制御工学専攻 14人 42人 計 30人 90人 農学研究科 修士課程 生物生産学専攻 20人 40人 応用生物科学専攻 30人 60人 計 50人 100人		

<p>大学院（工学系研究科、農学研究科）の研究科・専攻の目的の変更</p>	<p>平成22年4月1日</p>	<p>【工学系研究科】</p> <p>研究科は、理学及び工学の領域並びに理学及び工学の融合領域を含む関連の学問領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等、高度な専門的知識・能力を持つ職業人又は知識基盤社会を支える深い専門的知識・能力と幅広い視野を持つ多様な人材を養成し、もって人類の福祉、文化の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>（博士前期課程）</p> <p>(1) 数理学専攻 数学及び数理学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること。</p> <p>(2) 物理学専攻 物理学及び物理学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること。</p> <p>(3) 知能情報システム学専攻 情報科学及び情報工学の学問領域における深い専門知識・能力及び幅広い視野をもって知識基盤社会を支える人材を養成すること。</p> <p>(4) 循環物質化学専攻 化学の領域において、循環型社会を実現するための確かな知識と実践力を持つ高度な専門技術者等を養成すること。</p> <p>(5) 機械システム工学専攻 機械工学及びその関連の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(6) 電気電子工学専攻 電気工学及び電子工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(7) 都市工学専攻 都市工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(8) 先端融合工学専攻 医学又は機能材料工学の領域において、確かな知識と実践力を持つ高度な専門技術者等を養成すること。</p> <p>（博士後期課程）</p> <p>システム創成科学専攻 電子情報システム学、生産物質科学、社会循環システム学又は先端融合工学の豊かな学識と高度な専門知識を持ち、学際的立場から自立した研究活動が遂行できる研究者・技術者を養成すること。</p> <p>【農学研究科】</p> <p>研究科は、地域社会及び国際社会の発展に必要とされる農学上の諸課題を解決する能力、高い倫理意識及び国際的視野を有し、多方面において先端的・応用的・実用的な能力を発揮し、活躍できる創造性豊かな高度専門職業人を養成することを目的とする。</p> <p>（専攻の目的は研究科の目的と同様）</p>	<p>【工学系研究科】</p> <p>（同左）</p> <p>（博士前期課程）</p> <p>(1) 機能物質化学専攻 化学及び応用化学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(2) 物理学専攻 物理学及び物理学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること。</p> <p>(3) 機械システム工学専攻 機械工学及びその関連の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(4) 電気電子工学専攻 電気工学及び電子工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(5) 知能情報システム学専攻 情報科学及び情報工学の学問領域における深い専門知識・能力及び幅広い視野をもって知識基盤社会を支える人材を養成すること。</p> <p>(6) 数理学専攻 数学及び数理学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成すること。</p> <p>(7) 都市工学専攻 都市工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(8) 循環物質化学専攻 化学及び応用化学の領域において、循環型社会に貢献する高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>(9) 生体機能システム制御工学専攻 生体機能及びシステム制御工学に関連する学際的及び融合的な領域において、高度な専門的知識・能力を持つ職業人を養成すること。</p> <p>（博士後期課程）</p> <p>(1) エネルギー物質科学専攻 エネルギー科学及び物質科学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成すること。</p> <p>(2) システム生産科学専攻 生産システム学、社会システム工学及び情報システム学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成すること。</p> <p>(3) 生体機能システム制御工学専攻 生体機能及びシステム制御工学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成すること。</p> <p>【農学研究科】</p> <p>研究科は、科学技術の高度化・情報化・国際化に伴う社会の要求に応えるため、学部教育の幅広い基礎学力を基盤とし、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者及び高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人を養成することを目的とする。</p> <p>(1) 生物生産学専攻 生産科学及び環境情報工学の領域において、高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人等を養成すること。</p> <p>(2) 応用生物科学専攻 応用生物学及び生物化学の領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等を養成すること。</p>
<p>大学院（工学系研究科、農学研究科）のアドミッション・ポリシーの変更</p>	<p>平成22年4月1日</p>	<p>【工学系研究科】</p> <p>近年、科学技術は、その急速な進歩と共に多様化、高度化し、これらの科学技術に支えられた現代社会において、研究者・技術者・職業人として社会に貢献し、進展に寄与する人材には、国際的コミュニケーション能力と共に幅広い基礎知識から高度な専門知識を有し、独創性豊かで幅広い視野を持つことが求められています。</p> <p>工学系研究科の目的は、「理学および工学の領域並びに理学・工学および医学の融合領域を含む関連の学問領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等、高度な専門的知識・能力を持つ職業人又は知識基盤社会を支える深い専門的知識・能力と幅広い視野を持つ多様な人材を養成し、もって人類の福祉、文化の進展に寄与すること」です。</p> <p>本研究科は、博士前期課程として、数理学専攻、物理学専攻、知能情報システム学専攻、循環物質化学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、都市工学専攻、先端融合工学専攻の8専攻、博士後期課程としてシステム創成科学専攻の1専攻より構成されています。</p> <p>以上を踏まえ、本研究科が求める学生像は以下のとおりです。</p> <p>(1) 理工学の基礎となっている知識を有している人</p> <p>(2) 国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる語学力を有している人</p> <p>(3) 各専攻の基礎となる専門基礎知識を有している人</p> <p>(4) 一般的な学力や各専攻の教育分野に対する学修意欲を有している人</p> <p>(5) 社会人で、入学後の学修が可能な基礎学力や熱意がある人</p> <p>(6) 外国人で、入学後の学修に必要な語学力と基礎学力を有している人</p>	<p>【工学系研究科】</p> <p>近年、科学技術は、その急速な進歩と共に多様化、高度化し、これらの科学技術に支えられた現代社会において、研究者・技術者・職業人として社会に貢献し、進展に寄与する人材には、国際的コミュニケーション能力と共に幅広い基礎知識から高度な専門知識を有し、独創性豊かで幅広い視野を持つことが求められています。</p> <p>工学系研究科の目的は、「理学及び工学の領域並びに理学及び工学の融合領域を含む関連の学問領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等、高度な専門的知識・能力を持つ職業人又は知識基盤社会を支える深い専門的知識・能力と幅広い視野を持つ多様な人材を養成し、もって人類の福祉、文化の進展に寄与すること」です。</p> <p>本研究科は、博士前期課程として、機能物質化学専攻、物理学専攻、機械システム工学専攻、電気電子工学専攻、知能情報システム学専攻、数理学専攻、都市工学専攻、循環物質化学専攻、生体機能システム制御工学専攻の9専攻、博士後期課程としてエネルギー物質科学専攻、システム生産科学専攻、生体機能システム制御工学専攻の3専攻より構成されています。</p> <p>以上を踏まえ、本研究科が求める学生像を選抜方法ごと以下のとおりとする。</p> <p>1. 理工学の基礎となっている知識を有しているか。</p> <p>2. 国際的なコミュニケーションを行うための基礎となる語学力を有しているか。</p> <p>3. 各専攻の基礎となる専門基礎知識を有しているか。</p> <p>4. 一般的な学力や各専攻の教育分野に対する学修意欲を有しているか。</p> <p>5. 社会人で、入学後の学修が可能な基礎学力や熱意があるか。</p> <p>6. 外国人で、入学後の学修に必要な語学力と基礎学力を有しているか。</p>

博士前期課程
数理科学専攻

1. 専攻が求める学生像

数理科学専攻は、数学および数理科学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成しています。そのため、本専攻では、主として大学の専門課程の数学の基礎学力および専門知識、さらに進んだ数学の理論、応用について学ぶ意欲、そして、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 数学および数理科学の分野の高度な専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを目指す人
2. 数学および数理科学の分野の高度な専門知識を生かし、正確な表現力及びコミュニケーション能力を身につけることを目指す人
3. 数学および数理科学の分野で、即戦力として活動できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

数理科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに数理科学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から数理関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

物理科学専攻

1. 専攻が求める学生像

今日知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を求めるニーズがますます高まってきています。このような要求にこたえるために、物理科学専攻では、数学・英語の基礎学力と物理学における専門的知識を有し、さらに高度な専門知識の獲得を目指す意欲ある学生を求めています。社会人特別入試においては、専門的知識に基づいた実際の経験を生かし、発展の意欲のある人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

物理科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに物理分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から物理関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

知能情報システム学専攻

1. 専攻が求める学生像

社会の様々な分野において、IT技術は不可欠のものとなりつつあります。この技術を基盤から支え、さらに発展させていくために、知能情報システム学専攻ではコンピュータをはじめとする高度IT技術に対する基礎学力を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. ITおよびIT関連分野の高度な専門知識を修得し、高度なソフトウェアの開発を通して社会に貢献しようとする人
2. ITおよびIT関連分野の高度な専門知識を生かして、先進情報システムの構築に取り組もうとする人
3. ITおよびIT関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

知能情報システム学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらにIT分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点からIT関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

循環物質化学専攻

1. 専攻が求める学生像

環境にやさしく持続可能な循環型社会を実現するためには、物質の機能発現を追求する理系的発想とその応用を図る工系的発想の両者から総合的視野に立てる人材が不可欠です。このような人材育成を図るために、循環物質化学専攻では、化学の基礎学力とともに、専門分野への興味や新しい分野を切りひらく熱意と向上心を持った以下に示す学生を求めています。

1. 循環物質化学分野の高度な専門知識を修得し、環境配慮型の化学技術を構築することにより、社会に貢献することを目指す人
2. 循環物質化学分野の高度な専門知識を生かして、物質の存在原理を解き、構成を把握し、特性評価を行い、高付加価値の物質を創製して、循環型社会に貢献することを目指す人
3. 循環物質化学分野の技術交流に取り組み、国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

循環物質化学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに化学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から循環物質化学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

博士前期課程

□ 機能物質化学専攻

1. 専攻が求める学生像

身の回りの物質に付加価値を加え、新しい機能性物質を発見するには化学の基礎的知識と創造的応用力が求められています。これらの化学技術に対する要求にこたえるために、機能物質化学専攻では、化学および物理の基礎学力以外に専門分野への興味や新しい分野を切り開く姿勢と熱意をもち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 化学およびその関連分野の高度な専門知識を習得し、新機能性、高付加価値の物質を創製する事により社会に貢献しようとする人
2. 化学およびその関連分野の高度な専門知識を生かして、物質の存在原理を解き、物質の特性評価を行い、物質の構成を把握し、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 化学およびその関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

機能物質化学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに化学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から化学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 物理科学専攻

1. 専攻が求める学生像

今日知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を求めるニーズがますます高まってきています。このような要求にこたえるために、物理科学専攻では、数学・英語の基礎学力と物理学における専門的知識を有し、さらに高度な専門知識の獲得を目指す意欲ある学生を求めています。社会人特別入試においては、専門的知識に基づいた実際の経験を生かし、発展の意欲のある人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

物理科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに物理分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から物理関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 機械システム工学専攻

1. 専攻が求める学生像

人が関わるすべての分野において、機械システムの高機能化・知能化に対する社会的ニーズが高まってきています。これらの機械技術に対する要求にこたえるために、機械システム工学専攻では数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 機械および機械関連分野の高度な専門知識を習得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
2. 機械および機械関連分野の高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 機械および機械関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

機械システム工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに機械工学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から機械関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 電気電子工学専攻

1. 専攻が求める学生像

電気電子工学専攻では、以下に示す電気電子工学分野及び情報通信工学分野において、熱意と向上心を持った学生を求めています。

1. 大学卒業レベルの電気電子工学分野の基礎知識を修得し、より専門的な知識を身につけて、社会に貢献しようとする人
2. 電気電子工学分野に関する研究に意欲を持ち、電気電子工学分野および情報通信工学分野の高度専門技術者を目指す人
3. 電気電子工学分野及び情報通信工学分野の技術交流により、国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

電気電子工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに電気電子分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から電気関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

機械システム工学専攻

1. 専攻が求める学生像

人が関わるすべての分野において、機械システムの高機能化・知能化に対する社会的ニーズが高まってきています。これらの機械技術に対する要求にこたえるために、機械システム工学専攻では数学の基礎学力と機械工学における専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 機械および機械関連分野の高度な専門知識を修得し、ものづくりを通して社会に貢献しようとする人
2. 機械および機械関連分野の高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 機械および機械関連分野の技術交流により国際的に貢献することを旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

機械システム工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに機械工学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から機械関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

電気電子工学専攻

1. 専攻が求める学生像

電気電子工学専攻では、以下に示す電気電子工学分野および情報通信工学分野において、熱意と向上心を持った学生を求めています。

1. 大学卒業レベルの電気電子工学分野の基礎知識を修得し、より専門的な知識を身につけて、社会に貢献しようとする人
2. 電気電子工学分野に関する研究に意欲を持ち、電気電子工学分野および情報通信工学分野の高度専門技術者を旨とする人
3. 電気電子工学分野および情報通信工学分野の技術交流により、国際的に貢献することを旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

電気電子工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに電気電子分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から電気関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

都市工学専攻

1. 専攻が求める学生像

都市工学の分野では、都市環境基盤整備から建築・都市デザインに至るまで多種多様な人材が求められています。

本専攻では、以下に示すような目的意識と向上心を持っている人を求めています。

1. 都市工学および都市工学関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを旨とする人
2. 都市環境基盤整備のための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの確かな判断ができることを旨とする人
3. 建築・都市デザインのための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人

2. 入学者選抜の基本方針

都市工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに都市工学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から都市工学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

先端融合工学専攻

1. 専攻が求める学生像

高齢化社会が進展する中、環境との共生を図る人にやさしい社会の構築が社会的課題となっています。本専攻では理工融合を進展させ、医工学、新材料分野へ展開し、上記課題解決の図れる人材育成を目指しています。これらの要求にこたえるために、工学あるいは自然科学に関する基礎知識を持ち、熱意を持つ学生を求めています。

本専攻では、以下に示すような目的意識と向上心を持っている人を求めています。

1. 医工学や新材料分野の高度な専門知識を修得し、循環型社会の構築へ貢献することを旨とする人
2. 医工学や新材料分野の高度な専門知識を生かして、人間と環境に優しい社会の構築および社会や地域の持続的発展に貢献できる技術者を旨とする人
3. 医工学や新材料分野の技術交流により国際的に貢献することを旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

先端融合工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から先端融合工学を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 知能情報システム工学専攻

1. 専攻が求める学生像

社会の様々な分野において、IT技術は不可欠のものとなりつつあります。この技術を基盤から支え、さらに発展させていくために、知能情報システム工学専攻ではコンピュータをはじめとする高度IT技術に対する基礎学力を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. ITおよびIT関連分野の高度な専門知識を習得し、高度なソフトウェアの開発を通して社会に貢献しようとする人
2. ITおよびIT関連分野の高度な専門知識を生かして、先進情報システムの構築に取り組みようとする人
3. ITおよびIT関連分野の技術交流により国際的に貢献することを旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

知能情報システム工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらにIT分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点からIT関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 数理科学専攻

1. 専攻が求める学生像

数理科学専攻は、数学及び数理科学の領域において、知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成しています。そのため、本専攻では、主として大学の専門課程の数学の基礎学力および専門知識、さらに進んだ数学の理論、応用について学ぶ意欲、そして、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を修得し、論理的思考力、問題解決能力を身につけることを旨とする人
2. 数学及び数理科学の分野の高度な専門知識を生かし、正確な表現力及びコミュニケーション能力を身につけることを旨とする人
3. 数学及び数理科学の分野で、即戦力として活動できる高度な専門的知識・能力を持つ教育者、技術者、研究者を旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

数理科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに数理科学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から数理関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 都市工学専攻

1. 専攻が求める学生像

都市工学の分野では、都市環境基盤整備から建築・都市デザインに至るまで多種多様な人材が求められています。

本専攻では、以下に示すような目的意識と向上心を持っている人を求めています。

1. 都市工学および都市工学関連分野において、地域発展あるいは国際的に貢献することを旨とする人
2. 都市環境基盤整備のための高度な専門知識を活用し、現象の把握並びに工学的観点からの確かな判断ができることを旨とする人
3. 建築・都市デザインのための高度な専門技術と背景にある知識を修得し、独創的かつ合理的な発想力と表現力を鍛錬したい人

2. 入学者選抜の基本方針

都市工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに都市工学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から都市工学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 循環物質工学専攻

1. 専攻が求める学生像

地球環境との共生を図り、循環型社会に適したエネルギーや材料・製品の創造のための、また、人工化学物質の環境負荷をできる限り低減するための、新たな科学技術開発が求められています。これらの環境技術に対する要求にこたえるために、循環物質工学専攻では、化学および物理の基礎学力以外に専門分野への興味や新しい分野を切り開く姿勢と熱意をもち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 環境化学およびその関連分野の高度な専門知識を習得し、環境配慮型の科学技術を構築することにより社会に貢献しようとする人
2. 環境化学およびその関連分野の高度な専門知識を生かして、地球上の物質循環およびエネルギー循環システムにおける問題の解決に臨むことを旨とする人
3. 環境化学およびその関連分野の技術交流により国際的に貢献することを旨とする人

2. 入学者選抜の基本方針

循環物質工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに環境分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から環境関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

博士後期課程

システム創成科学専攻

1. 専攻が求める学生像

知識基盤社会を支え、人類の持続的発展を可能とするためには、豊かな人間性、深い専門的知識・能力、創造性に優れた研究・開発能力を備えた研究者・技術者の育成が不可欠です。特に博士後期課程の学生に対しては、より幅広い視点からの問題提起に加え、実践的な問題解決能力も求められています。これらの要求にこたえるために、システム創成科学専攻では、理工学分野の基礎学力、必要な専門分野での知識と強い関心を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 高度な専門知識を修得し、社会に貢献することを目指す人
2. 高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 学術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに電子情報システム学、生産物質科学、社会循環システム学および先端融合工学分野の専門知識および研究意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点からシステム創成科学の関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れます。

□ 生体機能システム制御工学専攻

1. 専攻が求める学生像

働く人が心地よく生産に従事できる生産システム、障害者や老人が安全に使用できる生活支援機器や医療機器、人間に優しい機器や道具の開発が緊急の課題となってきました。これらの要求にこたえるために、生体機能システム制御工学専攻では数学の基礎学力、生体機能とシステム制御に関する専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 生体機能およびシステム制御関連分野の高度な専門知識を習得し、機器開発、システム構築を通して社会に貢献しようとする人
2. 生体機能およびシステム制御関連分野の高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 生体機能およびシステム制御関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

生体機能システム工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに生体機能システム工学分野の専門知識および勉強意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から生体機能システム工学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

博士後期課程

□ エネルギー物質科学専攻

1. 専攻が求める学生像

エネルギー科学及び物質科学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成することが緊急の課題となってきました。これらの要求にこたえるために、エネルギー物質科学専攻では基礎学力、エネルギー科学及び物質科学に関する専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. エネルギー科学及び物質科学関連分野の高度な専門知識を習得し、機器開発、システム構築を通して社会に貢献しようとする人
2. エネルギー科学及び物質科学関連分野の高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. エネルギー科学及び物質科学関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

エネルギー物質科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらにエネルギー科学及び物質科学分野の専門知識および勉強意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点からエネルギー物質科学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ システム生産科学専攻

1. 専攻が求める学生像

生産開発工学、社会システム工学及び情報システム学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成することが緊急の課題となってきました。これらの要求にこたえるために、システム生産科学専攻では基礎学力、生産開発工学、社会システム工学及び情報システム学に関する専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 生産開発工学、社会システム工学及び情報システム学における関連分野の高度な専門知識を習得し、生産開発から社会システム並びに情報システムの分野においてシステム構築を通して社会に貢献しようとする人
2. 生産開発工学、社会システム工学及び情報システム学における関連分野の高度な専門知識を生かして、問題発見並びに問題解決の能力向上を目指す人
3. 生産開発工学、社会システム工学及び情報システム学における関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

2. 入学者選抜の基本方針

システム生産科学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに生産開発工学、社会システム工学及び情報システム工学分野の専門知識および勉強意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点からシステム生産科学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

□ 生体機能システム制御工学専攻

1. 専攻が求める学生像

生体機能及びシステム制御工学に関連する学際的及び融合的な領域において、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者・技術者等を養成することが緊急の課題となってきました。これらの要求にこたえるために、生体機能システム制御工学専攻では数学の基礎学力、生体機能とシステム制御に関する専門的知識を持ち、以下に示す向上心を持った学生を求めています。

1. 生体機能およびシステム制御関連分野の高度な専門知識を習得し、機器開発、システム構築を通して社会に貢献しようとする人
2. 生体機能およびシステム制御関連分野の高度な専門知識を生かして、自ら問題の解決に臨むことを目指す人
3. 生体機能およびシステム制御関連分野の技術交流により国際的に貢献することを目指す人

農学研究科（修士課程）

＜農学研究科が求める学生像＞

農学研究科は、生物資源科学専攻の中に農学を基盤とした人類の生存に必要な食料、環境、資源・エネルギー、経済・社会・文化、生命などに関わる5つの教育研究コースを擁しています。本研究科は、科学技術の高度化・国際化を踏まえつつ、各コースにおける学習と研究を通じて当該専門分野における専門職業人又は研究者としての知識・技能を高め、リーダーとして社会に貢献する人材の育成を行っています。そのために、本研究科への入学を志望する人には、以下のような資質とそれを支える基礎学力が求められます。

- 1 専門分野における基礎知識を持ち、かつ明確な問題意識を持つ人
- 2 研究課題に取り組む旺盛な意欲と研究を貫徹する実行力のある人
- 3 語学力ならびに高いコミュニケーション能力を有する人
- 4 本研究科での研究を通じて社会に貢献しようという意識の高い人

さらに、本研究科では、修士課程修了後に、農学系大学院博士後期課程に進学して、農学関連の研究者や専門技術者を目指す人材をも求めています。

＜コースの求める学生像＞

1 応用生物科学コース
有用な動植物の育種開発ならびに生物制御機構の解明と応用を中心としたバイオサイエンスに関する知識の修得と研究を志す人

2 生物環境保全学コース
環境負荷の少ない生物生産環境の創出と保全ならびに地球レベルから地域までの幅広い保全と創造に関する知識の修得と研究を志す人

3 資源循環生産学コース
資源循環型の生物生産システムの構築ならびに環境に配慮した農産・加工とバイオエネルギー開発に関する知識の修得と研究を志す人

4 地域社会開発学コース
農林水産に関する政策・流通経済・経営管理システム、農村の社会構造と集落維持システムならびに産業・地域開発に伴う環境問題と健康問題に関する知識の修得と研究を志す人

5 生命機能科学コース
生命現象と遺伝機能の化学的解明ならびに生物の機能性を利活用した食品の製造・貯蔵などライフサイエンスとフードケミストリーに関する知識の修得と研究を志す人

＜入学者選抜の基本方針＞

1 一般入試

農学研究科が求める学生像に相応しい学生を選抜するために、外国語（英語）能力と専門分野の知識を問う筆記試験ならびに口頭試問を含む面接試験を実施します。

外国語（英語）試験は、農学研究科の共通問題が課されます。試験問題には、農学・生物科学・環境科学分野における基礎的な題材を取り上げ、筆答による英語の読解力と作文力をみます。

専門試験は、各コースの専門試験として受験者個別に課され、当該コースでの学習・研究に必要な専門的知識の修得程度をみます。応用生物科学コース、生物環境保全学コース、資源循環生産学コース及び地域社会開発学コースは、受験者の志望する教育研究分野の専門試験を出題します。生命機能科学コースは、受験者の志望する教育研究分野の専門試験に加えて、当該コースの共通問題も出題します。

2 社会人特別入試

農学研究科は、大学卒業後に社会における専門分野の職業経験を持つ者を受入れて、再教育ならびに高度な研究の推進を通じて社会への貢献を目指しています。したがって、社会人特別入試の受験者は、口頭試問及び面接によって専門分野における基礎知識・研究課題ならびに入学後の修学条件等が問われます。

3 外国人留学生特別入試

農学研究科は、設置趣旨に沿い、世界に開かれています。したがって、外国人留学生特別入試の受験者は、口頭試問及び面接によって専門分野における基礎知識、コミュニケーション能力ならびに研究課題等が問われます。

2. 入学者選抜の基本方針

生体機能システム工学専攻では入学者選抜に際して、客観性、公平性、開放性を旨とし、入学後の教育・研究に必要な基礎学力とその応用力、さらに生体機能システム工学分野の専門知識および勉学意欲を重視し、多様な入試方法により多面的な観点から生体機能システム工学関連分野を専攻するにふさわしい人材を受け入れることとしています。

農学研究科（修士課程）

＜教育目的＞

21世紀に生きる私たちは、世界人口の増加、地球規模での環境破壊、食料資源の枯渇、食品の安全性等の難問を抱え、安全な食料の確保、健康な生活の維持、地球上の多様な生物が共存できる環境の維持等は、いずれも私たちの生活に深くかかわる課題です。このような現状に対し、日本有数の食料生産基地である佐賀平野に立地する佐賀大学大学院農学研究科の目的は、佐賀に立地する特性を活かし、直接的又は間接的に私たちの生活・生存に深くかかわる生物についての教育及び研究を通して、私たちが直面している諸課題を解決できる人材及び科学技術の高度化・国際化・情報化が進む社会において活躍できる人材の養成にあります。

本研究科は、この目的を実現するために、次のような人を求めます。

1. 学部教育の幅広い基礎学力を基盤として、高度な科学技術・専門知識を持つ、創造性豊かな人間味あふれる研究者・高度専門職業人を目指す人
2. 人間社会の持続的発展に必要な環境・生命・食料等についての研究に積極的に取り組もうとする人
3. 持続的な食料生産を可能にする生物生産システムや経済社会システムの創造に関する研究に意欲的な人

□ 生物生産学専攻

＜教育目的＞

本専攻の教育目的は、地球規模の環境問題、食料危機、食品の安全性等の問題を総合的にとらえ、社会科学、生物学、工学及び情報科学を活用して解決できる、高度専門職業人・研究者の養成です。

1. 地域社会における生物資源の意義を理解する。
 2. 食料生産の理論及び技術を修得する。
 3. 豊かな地域社会環境の整備及び保全を实践する。
- また、これらの目標の達成に向けて、多様な分野で活躍できる想像力・自立力を養うための教育課程及びカリキュラムを編成しています。

＜求める学生像＞

本専攻の教育理念を実現するために、次のような人を求めます。

1. 地球温暖化、資源のリサイクル、水や土壌の汚染等の環境問題に関心がある人
2. 人類の存続のために不可欠な生物の生産や持続的社会的形成に関心がある人
3. 世界的な視野を養い、国際社会で活躍したい人
4. 人と自然の共存に関心がある人

□ 応用生物科学専攻

＜教育の目的・目標・方針＞

生物資源の機能解析、保護及び活用は、人類の存続に直結する重要な教育及び研究のテーマであり、生命、食料、健康、環境、農業に関する諸問題を解決するための根幹をなす分野です。本専攻は、バイオサイエンス分野の幅広い知識及び研究手法を身に付け、学術分野又は産業分野で活躍できる応用力の高い研究者及び指導者の育成を教育目的とします。

このために、微生物、植物から動物全般にわたる広範な生物資源を教育と研究の対象にしており、生物資源の探査、制御、機能解析、バイオテクノロジーによる応用と新素材の開発等について、広範な教育と研究を行います。

＜求める学生像＞

本専攻の教育理念を実現するために、次のような人を求めます。

1. 地域社会や国際社会に大きく貢献しようとする希望と情熱を持つ人
2. 将来の様々な問題の解決に果敢に挑戦する人
3. バイオサイエンスを学ぶ上で必要な適性と基礎学力がある人

＜農学研究科の入学者選抜の基本方針（入学、選抜、選抜基準等）＞

上述した「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試等の多様な入学者選抜を実施します。

1. 一般入試

筆記試験（英語及び専門科目）、面接及び提出書類（成績証明書、志望理由書等）により、学力、思考力、独創性及び勉学意欲等を総合評価します。

2. 社会人特別入試及び外国人留学生特別入試

口述試験面接及び提出書類（成績証明書、志望理由書、研究業績書、研究計画書等）により、学力、思考力、独創性及び勉学意欲等を総合評価します。

医学部の入学定員等の変更	平成22年4月1日	(学部、学科)	(入学定員)(3年次編入)(収容定員)			(学部、学科)	(入学定員)(3年次編入)(収容定員)		
		医学部 医学科 看護学科 計	106人 60人 166人	10人	636人 260人 896人	医学部 医学科 看護学科 計	100人 60人 160人	10人 10人 10人	600人 260人 860人

10. 熊本大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
医学薬学研究部の改組	平成22年1月1日	(名称) 生命科学研究部 3部門 13講座 79分野	(名称) 医学薬学研究部 3部門 11講座 70分野
医学部医学科入学定員の改訂	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 115人	(学部、学科) (入学定員) 医学部 医学科 110人
工学部3年次編入入学定員の改訂	平成22年4月1日	(学部) (3年次編入) 工学部 学部共通定員 45人	(学部) (3年次編入) 工学部 学部共通定員 30人
自然科学研究科数学専攻(博士前期課程)の設置	平成22年4月1日	(研究科、専攻、課程、コース) (入学定員) 自然科学研究科 理学専攻 85人 修士(理学)、修士(学術) 物理化学コース 化学コース 地球環境科学コース 生命科学コース 数学専攻 15人 修士(理学)、修士(工学)、修士(学術) 基礎数理コース 応用数理コース	(研究科、専攻、課程、コース) (入学定員) 自然科学研究科 理学専攻 100人 修士(理学)、修士(学術) 物理化学コース 化学コース 地球環境科学コース 生命科学コース 数理科学コース
薬学教育部創薬・生命薬科学専攻(博士前期課程)の設置 薬学教育部分子機能薬学専攻(博士前期課程)及び薬学教育部生命薬科学専攻(博士前期課程)の学生募集停止	平成22年4月1日	(学部、専攻) (入学定員) 薬学教育部 創薬・生命薬科学専攻 修士(薬科学) 35人 (4コース)	(学部、専攻) (入学定員) 薬学教育部 分子機能薬学専攻 修士(薬学) 42人 生命薬科学専攻 修士(薬学) 27人
保健学教育部保健学専攻(博士後期課程)の設置	平成22年4月1日	(学部、専攻、分野、コース) (入学定員) 保健学教育部 保健学専攻 6人 博士(保健学)、博士(看護学) 保健学分野 看護学コース 医療技術科学系コース	
法曹養成研究科法曹養成専攻入学定員の改訂	平成22年4月1日	(研究科、専攻) (入学定員) 法曹養成研究科 法曹養成専攻 22人	(研究科、専攻) (入学定員) 法曹養成研究科 法曹養成専攻 30人
薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンターの設置	平成22年4月1日	薬学部附属薬用資源エコフロンティアセンター 教育研究部門 薬用植物園分野 准教授1名(専任) (生命科学研究部から) 技術職員2名(専任) (薬用植物園から) 天然資源化学分野 教授1名、准教授1名(併任) (生命科学研究部から) 薬用資源・環境分析学分野 准教授1名(併任) (生命資源研究・支援センターから) 地域国際連携部門 地域大学連携分野 エコファーマ地域連携分野 希少薬用植物国際連携分野	薬学教育部附属薬用植物園 (技術職員2名)

エイズ学研究センターの改組	平成22年4月1日	研究分野体制を廃止し研究プロジェクト体制とする。 ・教授、准教授の研究室（8研究室） ・兼任教授の研究室（1研究室） ・客員教授（2名）の研究室（1研究室）	・ウイルス制御分野 ・病態制御分野 ・予防開発分野 ・流行阻止分野 （客員分野）
---------------	-----------	---	--

11. 群馬県立女子大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
学科名の変更	平成22年4月1日	(名称) 文学部 英米文化学科	(名称) 文学部 英文学科

12. 横浜市立大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
入学定員の変更	平成22年4月1日	(学部、学科) (入学定員) 医学部 看護学科 90人	(学部、学科) (入学定員) 医学部 看護学科 80人
専攻の設置	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) 医学研究科 修士課程 看護学専攻 12人	
専攻の改組	平成22年4月1日	(研究科、課程、専攻) (入学定員) 医学研究科 博士課程 医科学専攻 60人	(研究科、課程、専攻) (入学定員) 医学研究科 博士課程 生命分子情報医科学専攻 20人 生体機能医科学専攻 23人 生体システム医科学専攻 17人

13. 大阪府立大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
学科名の変更	平成22年4月1日	(名称) 総合リハビリテーション学部 理学療法学科 作業療法学科 栄養療法学科	(名称) 総合リハビリテーション学部 総合リハビリテーション学科 理学療法専攻 作業療法専攻 栄養療法専攻
研究科及び学部の廃止	平成22年3月31日		(研究科、学部) 大阪府立大学大学院工学研究科 大阪女子大学理学部

14. 兵庫県立大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較	
		新	旧
学長名の変更	平成22年4月1日	(名称) 清原 正義	(名称) 熊谷 信昭
教育研究に係る基本的な組織の変更	平成22年4月1日	(名称) 経営研究科 の設置	

15. 高知女子大学

変更の内容	変更が生じた年月日	新旧比較																																											
		新	旧																																										
所在地の変更	平成22年4月1日	大学本部の所在地 高知県高知市池2751番地1号	大学本部の所在地 高知県高知市永国寺町5番15号																																										
学部の設置 入学定員・収容定員の変更	平成22年4月1日	<table border="0"> <tr> <td>(学部、学科)</td> <td>(入学定員)</td> <td>(収容定員)</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>健康栄養学科</td> <td>40人</td> <td>160人</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>80人</td> <td>328人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>70人</td> <td>280人</td> </tr> </table>	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)	健康栄養学部			健康栄養学科	40人	160人	看護学部			看護学科	80人	328人	社会福祉学部			社会福祉学科	70人	280人	<table border="0"> <tr> <td>(学部、学科)</td> <td>(入学定員)</td> <td>(収容定員)</td> </tr> <tr> <td>生活科学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>健康栄養学科</td> <td>20人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護学科</td> <td>45人</td> <td>188人</td> </tr> <tr> <td>社会福祉学部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉学科</td> <td>30人</td> <td>120人</td> </tr> </table>	(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)	生活科学部			健康栄養学科	20人	80人	看護学部			看護学科	45人	188人	社会福祉学部			社会福祉学科	30人	120人
(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)																																											
健康栄養学部																																													
健康栄養学科	40人	160人																																											
看護学部																																													
看護学科	80人	328人																																											
社会福祉学部																																													
社会福祉学科	70人	280人																																											
(学部、学科)	(入学定員)	(収容定員)																																											
生活科学部																																													
健康栄養学科	20人	80人																																											
看護学部																																													
看護学科	45人	188人																																											
社会福祉学部																																													
社会福祉学科	30人	120人																																											
学生募集の停止	平成22年4月1日		<table border="0"> <tr> <td>(学部、学科)</td> </tr> <tr> <td>生活科学部</td> </tr> <tr> <td>生活デザイン学科</td> </tr> <tr> <td>健康栄養学科</td> </tr> <tr> <td>環境理学科</td> </tr> </table>	(学部、学科)	生活科学部	生活デザイン学科	健康栄養学科	環境理学科																																					
(学部、学科)																																													
生活科学部																																													
生活デザイン学科																																													
健康栄養学科																																													
環境理学科																																													